

教育プログラム・コースの概要

大学名等	慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科修士課程看護学専修						
教育プログラム・コース名	がんゲノム医療を支える専門看護師コース						
対象者	健康マネジメント研究科修士課程看護学専修CNSコース（がん・精神・老年・遺伝看護専門看護師コース）大学院生						
修業年限（期間）	2年						
養成すべき人材像	がんゲノム情報の意義を理解し、分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬の適応など、個別化医療に向けて患者・看護師への教育的役割を担い、また、生殖細胞系列の遺伝子バリエーションによる遺伝性腫瘍患者・家族にとって最善の治療・ケア選択の意思決定を支え、心身の安定を図る高い実践力を持ち、がんゲノム医療におけるinter-professionalなリーダーシップを発揮できる専門看護師の養成を目指す。						
修了要件・履修方法	44単位以上（内CNS38単位）を履修し、学位論文審査、最終試験に合格すること。						
履修科目等	<必修科目> 看護学専修CNSコース各分野科目（14単位）、看護学専修共通科目（14単位）、専門看護実習（10単位） <選択科目>下記いずれか1科目以上 がん遺伝看護論（2単位）、遺伝看護論（2単位）、遺伝リスク評価法（2単位）、遺伝看護対象論（2単位）、遺伝医療・社会制度論（2単位）、遺伝看護援助論（2単位）、遺伝看護展開論（2単位）						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	遺伝看護CNSコースには遺伝医療・遺伝看護を深く学ぶために必要な科目が設置されており、また、大学病院には臨床遺伝学センターが設置されているため、がんゲノム医療に必要な専門知識として幅広く学ぶことが可能である。						
指導体制	看護学専修（平成30年度からは看護学専攻予定）研究科委員15名に加え、医学部、臨床遺伝学センターの兼任教員により、講義・演習が行われる。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	修士課程終了後、日本看護協会のがん看護専門看護師・精神看護専門看護師・老年看護専門看護師・遺伝看護専門看護師認定試験に合格し、各領域における専門看護師として、がんゲノム医療を支える人材として活躍することが期待される。						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	修士課程CNSコース学生	0	2	2	2	2	8
	計	0	2	2	2	2	8